

Japanese A: literature – Higher level – Paper 2
Japonais A : littérature – Niveau supérieur – Épreuve 2
Japonés A: literatura – Nivel superior – Prueba 2

Tuesday 10 November 2015 (morning)
Mardi 10 novembre 2015 (matin)
Martes 10 de noviembre de 2015 (mañana)

2 hours / 2 heures / 2 horas

Instructions to candidates

- Do not open this examination paper until instructed to do so.
- Answer one essay question only. You must base your answer on at least two of the part 3 works you have studied and compare and contrast these works in response to the question. Answers which are not based on a discussion of at least two part 3 works will not score high marks.
- You are not permitted to bring copies of the works you have studied into the examination room.
- The maximum mark for this examination paper is **[25 marks]**.

Instructions destinées aux candidats

- N'ouvrez pas cette épreuve avant d'y être autorisé(e).
- Traitez un seul sujet de composition. En basant votre réponse sur au moins deux des œuvres de la troisième partie que vous avez étudiées, vous devez comparer et opposer ces œuvres dans le cadre du sujet. Les réponses qui ne sont pas basées sur au moins deux des œuvres de la troisième partie n'obtiendront pas une note élevée.
- Vous n'êtes pas autorisé(e) à apporter des exemplaires des œuvres que vous avez étudiées dans la salle d'examen.
- Le nombre maximum de points pour cette épreuve d'examen est de **[25 points]**.

Instrucciones para los alumnos

- No abra esta prueba hasta que se lo autoricen.
- Conteste una sola pregunta de redacción. Base su respuesta en al menos dos de las obras estudiadas de la parte 3, comparándolas y contrastándolas en relación con la pregunta. Las respuestas que no se basen en al menos dos obras de la parte 3 no recibirán una puntuación alta.
- No está permitido traer copias de las obras estudiadas a la sala de examen.
- La puntuación máxima para esta prueba de examen es **[25 puntos]**.

次の問題から**一つ**を選んで、エッセイ（小論文）を書きなさい。その際、授業で学習した**Part 3**（ジャンル別部門）の、**少なくとも二作品**に言及しなさい。**Part 3**の二作品を使用していない場合は減点となります。なお、エッセイを書くにあたっては、必ず作品を**比較対照**すること。

物語・小説

1. 作者はどのような技法を用いて、独自のスタイルを作り上げていますか。また、その独自のスタイルは作品にどのような影響や効果を与えているか、二作品以上から例をあげて比較対照し論じなさい。
2. 物語や小説の中には逸話やエピソードを挿入した作品がある一方、そのような逸話やエピソードがない作品もあります。二作品以上から例をあげて、作者の選択の効果を比較対照し論じなさい。
3. 作者は登場人物が属している社会を意図的に選んでいます。その意義と効果について、二作品以上から例をあげて比較対照し論じなさい。

随筆・評論

4. 学習した作品において、作者は日常的な生活や風景をどのように扱っていますか。また、それはどのような効果をもたらしていますか。二作品以上から例をあげて比較対照し論じなさい。
5. 抽象的な事柄を扱う評論や随筆は難解な文章になりがちです。作者はこの抽象的な事柄を明快にするために、書き方にどのような工夫をしていますか。二作品以上から例をあげて比較対照し論じなさい。
6. 学習した作品において、作者のもつ特定の見解はその論調を通してどのように表れていますか。二作品以上から例をあげて比較対照し論じなさい。

詩歌

7. 詩人は文字や句読点、形式（レイアウトなどを含む）をどのように用いていますか。二人以上の作品から、このような工夫の例をあげて比較対照し、その効果について述べなさい。
8. 詩歌の題名は重要な役割を担っていることがよくあります。題名が与える効果について、二人以上の作品から例をあげて比較対照し論じなさい。
9. 詩歌ではよく対立する事柄や物が使われています。二人以上の作品から例をあげて、このような技法がどう効果的に使われているか、比較対照し論じなさい。

戯曲

10. ト書きの役割とその効果について、二作品以上から例をあげて比較対照し論じなさい。
 11. 劇作品には実生活であまり起こりえない偶然がよく用いられます。このような偶然が作品の中で持つ意味とその効果について、二作品以上から例をあげて比較対照し分析しなさい。
 12. 劇作品において、場面の転換は登場人物や彼らの関係の進展を示すうえで、どのような効果を与えていますか。二作品以上から例をあげて比較対照し論じなさい。
-